

北浜コミュニティセンターだより

きたはま

令和6年
9月号
No.69

発行：北浜コミュニティセンター
TEL 66-0002 FAX 66-0016

北浜地区の人口 (R, 6, 7, 31)

世帯数	男	女	合計
387	451	467	918
(昨年同期比) 0	△2	4	2



北浜自治協会で 横断幕を作成しました

〔文〕 児童のみなさんで考えた言葉

〔絵〕 6年生が描いた北浜小学校の校舎



北浜っ子のつどい

総務安全部自主企画事業として、七月二十九日(土)の午後六時から午後八時まで、小津漁村センターにおいて、わくわくバンドの演奏を楽しんでから、カレーライスを食べ、その後、輪投げ、的あて、スカットボール、魚釣りゲーム、じゃんけん等のゲームを楽しんだ後、最後は、手持ち花火と打ち上げ花火で夏の夜のひとときを過ごしました。当日は風があり花火ができるか心配でしたが、夜になり風も弱まり打ち上げ花火もできました。参加した北浜っ子のもとより、イベントに関わったスタッフも童心に帰る子どもたち以上に楽しんでいました。

参加者は、四十二人でした。



北浜小学校PTA

北浜小思い出の教室

北浜小学校閉校まで七か月足らずとなりましたが、八月二十五日(日) PTA主催の「北浜小思い出の教室」が、平成二十六年年度から令和五年度の卒業生を対象に、以前に在任された先生方や保護者・地域の方も参加して開催されました。

平成二十五年度から二十八年度在任の井原校長先生、平成二十九年度から三十年度の森校長先生をはじめ八人の先生方も来校され、懐かしい顔ぶれや久しぶりの同級生との再会に喜んでおられました。

初めに、森校長先生が在任された時の行事を振り返ってお話があり、その後、当時の先生三名によるリズム遊びや、北浜での思い出俳句づくりをしました。最後に井原校長先生から北浜の歴史についての話を聞いて閉会となりました。

「形あるものは壊れたり無くなったりするが、北浜小で過ごした思い出は、誰も心のなかで消えずに残る。」と言われた井原校長先生の言葉が印象に残りました。

参加された皆さんが、恩師や旧友たちと思い出のある北浜小での楽しい時間を過ごされました。参加者は六十人でした。



寄せ植え教室

＊六月七日＊

文化環境部の事業として、六月七日(金) 北浜コミュニティーセンター会議室(旧JA北浜店会議室)で、多井地区在住の manawa 樋野加奈さんを講師に寄せ植え教室を開催しました。今回は初夏から秋まで楽しめる寄せ植えをテーマに、講師の樋野さんに教わりながら参加者それぞれが寄せ植え作りをしました。

出来上がった作品は、参加者の皆さんが大切に持ち帰られました。



人権同和教育研修会

＊六月十日＊

健康福祉部と北浜地区人権尊重のまちづくり推進協議会・北浜地区社会福祉協議会の共催事業として、県外から移住し北浜地区で漁業関係に就労後、北浜地区で海産物加工販売の事業を起業された海咲丸代



表の西川哲平さんを講師にお招きして、一ターンので北浜地区に就職された西川さんの目を通して見て感じ取った、住んでいるとわからない北浜地区の魅力起業するときの苦労話を交えながら、お話しいただきました。六月十日(土) 北浜コミュニティーセンター会議室(旧JA北浜店会議室)で、参加者二十二人で開催しました。

ものづくり体験

＊七月三十一日＊

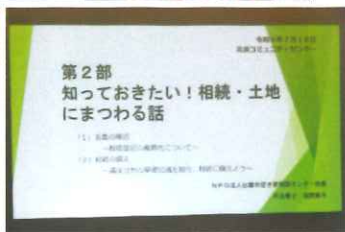
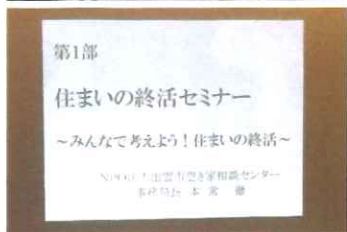
健康福祉部自主企画事業として、七月三十一日(水)、島根県技能振興コーナーものづくりマイスター(和菓子職種)の田中紀幸さん(彩雲堂)を講師として招き、北浜小学校家庭科室で和菓子づくりを学びました。普段は和菓子づくりをすることはありませんが、マイスターの指導により清涼感溢れる夏のふるふるとした和菓子ができました。最近の子どもたちは、和菓子を食べる機会が少なくあまり好まない傾向にあります。この体験を機会にもっと和菓子を好きになってほしい。参加者は十九人でした。



空き家のあれこれ



文化環境部と北浜地区社会福祉協議会の共催で、七月十日 北浜コミュニティセンター会議室（旧J A北浜店会議室）でNPO法人出雲市空き家相談センターの行政書士 本常徹さんと司法書士 塩野真弓さんを講師に、空き家にしない予防法、なつてからの管理・利用法や相続・土地についての法律制度も含めてわかりやすく説明していただきました。参加者からは、土地や相続についてたくさん質問があり、今回、参加してよかった・大変参考になったという声がたくさんありました。



北浜地区社会福祉協議会事業

ふれあいサロンスタッフ研修

令和六年度スタッフ研修を七月十七日（水）に北浜コミュニティセンター会議室（旧J A北浜店会議室）で開催しました。研修会では島根県立青少年の家（サン・レイク）の職員二名の方を講師に「モルック」の発祥の国やゲーム方法などについて話していただいた後、参加者が二チームに分かれて実際にゲームをしながら、ゲームのやり方など学びました。また、各地区サロンのスタッフが揃うことが少ないので、楽しい交流の場でもありました。



赤い羽根共同募金

が始まります

〈十月一日～十二月三十日まで〉



この町で集まった募金は、
この町の困ったことのために使われます。
子育て支援や高齢者の配食支援に使われたり、
災害支援や地域の見守りパトロールなど、
支援する人をサポートする資金として使われています。
支えられたり、支えたり。赤い羽根共同募金は、
その町の貯金箱のように使ってもらおうの。
そが、「じぶんの町を良くするしくみ」なのです。

意志あるお金、募金のチカラ。
赤い羽根共同募金



平田高校ウイングバスツアー



七月四日(木)、平田高校ウイングバスツアーが令和元年から六年連続で開催され、平田高校一年三組の三十六名の皆さんと二名の教職員が北浜コミュニティセンターに来訪されました。はじめに、北浜コミュニティセンターで北浜地区の概要を説明し、続いて事前にいただいていた質問事項等の回答を行いました。その後、バス二台にて風車公園と義勇の碑を回りました。風車公園では、新出雲ウ



インドファームの名原事業所長から風力発電に関する説明を受けました。当日はくもりで風も強かったため残念ながら日御碕灯台や隠岐の島などは見えませんでした。そののち、義勇の碑へ向かい義勇青年顕彰会の佐藤康治事務局長から義勇の碑に関する説明を受けました。また、義勇の碑が刻まれた岩は、「唯浦の直立層」といわれ、約一五〇〇万年前頃の地殻変動によって地層が直立した状況が観察できる貴重な場所であるとの説明も受け、興味・関心を持った様子でメモを取っていました。

北浜地区防災会議



令和六年度北浜地区防災会議を七月十七日(火)午後七時から小津漁村センターにおいて、開催しました。

今回は、七月九日(火)からの大雨に関する地区内災害状況等の報告(詳細は別掲)、令和六年度(二〇二四)北浜地区防災計画の改正及び令和六年度北浜地区防災訓練の実施について協議しました。

◎防災計画の改正

- * 各諸団体の会長等の交代による変更
- * 避難所機材に追加
- * 等がその主な内容で、大きな改正はありません。

◎防災訓練の実施内容について(実施内容は別掲)

- * 開催日時：九月八日(日) 午前九時から正午まで
- * 開催場所：北浜小学校体育館
- * 訓練内容：避難所運営について・避難機材組立て



避難所運営ゲームHUGで避難所運営を模擬体験して学ぶ防災資機材(避難用テント・パーテーション等)の設置について以上の協議事項二件の案を事務局から提示、提案し、承認されました。

◎その他事項として出雲市消防団北浜分団から次の報告事項がありました

* 出雲市消防団北浜分団組織再編について

消防団員の確保や課題解決に向けて設置された出雲市消防団改革推進委員会の答申で示された組織再編基本計画に基づき、出雲市の全分団を2部とする再編計画に従って北浜分団も四部から二部に再編されることになりました。本年度中に施設・機材等の協議を終了させて、来年度から新体制で活動される予定です。

【現在】：【一部】小津・相代 【二部】十六島・多井 【三部】塩津

【四部】美保

【再編成後】：【一部】小津・相代・十六島・多井・釜浦 【二部】塩津・美保

今回の訓練は、地区防災会議の項（別掲）でも触れているとおり、「避難所運営ゲームHUGによる避難所運営について学ぶこと」及び「防災資機材の組立て練習について」を主テーマとして実施しました。今回は、通常のHUGは机上の図で避難所設営等の模擬訓練を行うが、今回は北浜小学校体育館を大きな図に見立てて、参加者を本部・情報係・生活係・物資係・居住係の四班に分かれ避難所として必要な機能を考えながら設営し、避難者のいろいろな要望を受けながら避難所設営の模擬訓練をしました。今回の訓練では、避難所の設営から運営までを学ぶことができ、今後の避難所の開設時に役立てていきたいです。

◎避難所運営ゲーム（HUG）とは

避難所運営をみんなで考えるためのアプローチとして、静岡県で開発された図上訓練で、具体的に実践的な避難所運営を疑似体験できるゲームです。



表彰おめでとうございます！

◎みんなで守り育てる

しまねの道と川の

愛護活動表彰



小津本郷区は、島根県のハートフルしまね（道路と漁港部門）に登録されていて、今回は漁港部門において、長年に亘り地区の漁港区域内の草刈等清掃活動を実施してきたことにより表彰されました。

◎出雲市民生委員

児童委員協議会会長表彰



美保町 佐藤康治様
小津町 小村 修様
長年に亘り民生委員児童委員として地域の福祉活動に努めてこられた功績により表彰されました。

◎人命救助感謝状



十六島町 渡部幸一様
小津町 錦織久和様
平田町 高橋慎也様
三名の皆さまは、十六島漁港での水難事故救助活動に協力したことにより、出雲市消防本部から感謝状が贈呈されました。

秋の全国交通安全運動

九月二十一日（土）～三十日（月）

・地区内の広報巡回、のぼり旗・横断幕の設置

・各地区での街頭活動、

・交通安全運動期間中にテント村の開催

二十九日（日）

◎毎月の街頭活動日は、一日（一月は十五日）です。ただし、が土日祝日の場合は翌日か翌々日の平日となります。

（街頭活動とは、以前の立哨のことです）

あとがき



「今年もたいへんな猛暑ですね」があいさつ代わりになってきましたが、昨年同様、各地で連日、最高気温三十五℃以上の猛暑日が続きました。六月以降、猛暑日を観測した地点の累積数は、記録的な高温となった昨年を上回っているようです。今年の夏の暑さは、地球温暖化や春まで続いたエルニーニョ現象の影響で地球全体の気温がかなり高くなっていることに加え、太平洋高気圧の勢力の強まりや偏西風の蛇行で上空に暖かい空気が流れ込んでいるといった条件が重なったことが考えられるようです。暑さ寒さも彼岸までといいますが、九月中もまだまだ三十℃を超える真夏日を記録するところが多くて、秋の到来は平年よりひと月くらい遅れるようです。

九月一日は防災の日です。この日は大正十二年九月一日に発生した関東大震災の教訓を忘れないため、また、九月から台風シーズンの入ることから昭和三十五年に防災の日に制定されました。防災の日には日本各地で防災訓練等が行われていますが、今年は、日本列島に大きな被害をもたらした台風十号の影響で、中止となったところが多かったようです。

